

■ 調査名 貯蓄に関する世論調査, 1981
■ 寄託者(寄託時) 金融広報中央委員会

※ 本調査票を引用する際には出典を明記して下さい。最新の寄託者名は概要にてご確認ください。

調査票 (調査事項の記録)

貯蓄に関する世論調査(昭和56年)

問1 お宅では現在、つぎのうちどのような貯蓄をお持ちですか。お持ちの貯蓄種類の番号にいくつでも印をつけてください。なお、ここでの貯蓄は家計上の貯蓄だけで、営業・自営上の貯蓄は含めなくてください。

- 1 郵便貯金
- 2 銀行預金・積金
- 3 相互銀行預金・積金・掛金
- 4 信用金庫預金・積金
- 5 信用組合預金・積金
- 6 農協・漁協預金・積金
- 7 職場貯金・社内預金
- 8 労働金庫等その他預貯金
- 9 貸付信託・金銭信託
- 10 生命保険・簡易保険 (ただし定期保険のような掛け捨ての保険は除く)
- 11 郵便年金・個人年金信託・年金保険 (厚生年金・国民年金・公務員共済などの公的年金は除く)
- 12 国債・地方債 (都道府県市債等)
- 13 金融債
- 14 社債・転換社債を含む公社・公団・公庫債等その他債券
- 15 株式・従業員持株制度による株式を含む
- 16 投資信託
- 17 財形貯蓄
- 18 その他 (具体的に記入ください)

19 貯蓄を持っていない → 貯蓄をお持ちでない方は問9へ進んでください

問2 だいたいどこでけっこうですか。いまお宅をお持ちの貯蓄の残高をつぎのように分けてお答えください。(ここでの貯蓄は家計上の貯蓄だけで営業・自営上の貯蓄は含めなくてください。また勤務先の財形貯蓄額は1～7に記入することなく、すべて8に記入してください。)

1 預貯金の額は(問1の1～8の合計額)

万円

うち、定期預金、定期積金、定額貯金、振替貯金など定期性預金の額は

万円

2 貸付信託・金銭信託の額は

万円

3 今までに払込んだ生命保険・簡易保険の保険料の合計額は、(ただし定期保険のような掛け捨ての保険は除く)

万円

4 今までに積立てた郵便年金・個人年金信託・年金保険の掛金の合計額は、(厚生年金・国民年金・公務員共済など、公的年金の掛金は除く)

万円

5 債券の額は(問1の12～14の合計額を額面でお答えください)

万円

6 株式の額は(時価・今の相場でお答えください)

万円

7 投資信託の額は(時価・今の相場で、ご不明なら額面で、お答えください)

万円

8 財形貯蓄の額は

万円

以上の1～8を合計した貯蓄の総額は

万円

問3 お宅でこの1年間に貯蓄された額はボーナスを含む1年間の手取り(税引き)収入のうちどのくらいの割合にあたるでしょうか。(ここでの貯蓄額には給与振込に伴う一時的なものは含めなくてください。)

割 分くらい

例えば、年間の手取額が100万円で、そのうち12万円を貯蓄した場合は、1割2分、12万5千円を貯蓄した場合は、1割3分、のように記入ください(厘の位は四捨五入)

問4 お宅では、ボーナスやまとまった臨時収入などがあつたときは、それからどのくらいの割合を貯蓄にふりむけていますか。(ここでの貯蓄額には給与振込に伴う一時的なものは含めなくてください。)

割 分くらい

例えば、10万円のボーナスや臨時収入で、そのうち3万円を貯蓄した場合には、3割0分と記入してください。

問5 お宅では貯蓄するためにどのように心がけていますか。つぎにあてはまるものから2つまで選んで印をつけてください。1つでもかまいません。

- 1 無駄をはぶいたり、節約したりしている
- 2 ともかくきまった額を天引きして貯蓄にふりむけている
- 3 ボーナスや臨時収入はできるだけ貯蓄にふりむけるようにしている
- 4 副業や内職あるいはアルバイトで収入をふやして貯蓄するようにしている
- 5 その他 (具体的に記入ください)

問6 過去1年間の月収やボーナスなどからの貯蓄について、つぎのうちあてはまるものに印をつけてください。この1年間はそれ以前に比べ……

- 1 貯蓄する額をふやした
- 2 とくに変らない
- 3 貯蓄する額をへらした

→問6-1 その理由としてつぎのなかから2つまで選んで印をつけてください。

- 1 収入がふえたため
- 2 こどもの卒業などにより生活費に余裕ができたため
- 3 老後の生活に必要な額かふえると思われるため
- 4 土地の取得、建物の増改築等に必要額かふえると思われるため
- 5 こどもの教育や結婚に必要な額かふえると思われるため
- 6 物価の上昇など今後の生活が不安であるため
- 7 将来の生活をもっと充実させるため
- 8 預貯金の目減りを補うため
- 9 その他 (具体的に記入ください)

→問6-2 その理由としてつぎのなかから2つまで選んで印をつけてください。

- 1 収入がへったため
- 2 こどもの進学などにより生活費かふえたため
- 3 住宅ローンなどの借入金の返済があるため
- 4 物価が上昇して生活が苦しくなったため
- 5 毎日の生活をもっと充実させるため
- 6 預貯金の目減りを考えると、貯蓄をしてもあまり意味がないため
- 7 その他 (具体的に記入ください)

問7 お宅の今後1年間の月収やボーナスなどからの貯蓄について、つぎのうちあてはまるものに印をつけてください。今後1年間は過去1年間に比べ……

- 1 貯蓄する額をふやしたい
- 2 とくに変えない
- 3 貯蓄する額をへらしたい

→問7-1 その理由としてつぎのなかから2つまで選んで印をつけてください。

- 1 収入がふえると予想されるため
- 2 こどもの卒業などにより生活費の余裕ができるため
- 3 老後の生活に必要な額かふえると思われるため
- 4 土地の取得、建物の増改築等に必要額かふえると思われるため
- 5 こどもの教育や結婚に必要な額かふえると思われるため
- 6 物価の上昇など今後の生活が不安であるため
- 7 将来の生活をもっと充実させるため
- 8 預貯金の目減りを補うため
- 9 その他 (具体的に記入ください)

→問7-2 その理由としてつぎのなかから2つまで選んで印をつけてください。

- 1 収入がへりそうなるため
- 2 こどもの進学などにより生活費かふえるため
- 3 住宅ローンなどの借入金の返済があるため
- 4 物価が上昇して生活が苦しくなりそうなるため
- 5 毎日の生活をもっと充実させるため
- 6 預貯金の目減りを考えると、貯蓄をしてもあまり意味がないため
- 7 その他 (具体的に記入ください)

問8 お宅で貯蓄をされている目的はいろいろありましようが、つぎにあてはまるものの中からその目的を3つまで選んで印をつけてください。また、そのうち当面もっとも重点をおいているもの1つに印をつけてください。

- 1 病気や不慮の災害の備えとして
- 2 こどもの教育費や結婚資金にあてるため
- 3 土地・建物の買入れや、新築改築・修理のため
- 4 老後の生活のため
- 5 自動車・家具などまとまった金額の物品を購入するため
- 6 旅行など余暇を楽しむため
- 7 納税のため
- 8 とくに目的はないが貯蓄をしていれば安心だから
- 9 その他（具体的に記入ください）

以下は全部の方がお答えください

問9 貯蓄することについて、いろいろな考えがあります。ここにあげたもののなかからお宅の考えにもっとも近いもの1つに○印をつけてください。

- 1 貯蓄は必要だから、相当無理してでも貯蓄をしなければならぬ
- 2 貯蓄のためには、ある程度やりくりをするのもやむをえない
- 3 貯蓄は余裕があればした方がよい
- 4 貯蓄するよりは毎日の生活を楽しむことを考えたい

問10 お宅では貯蓄金額としてどのくらいを目標にしていますか。少なくとも将来これくらいの額の貯蓄は持とうとお考えになっている金額をご記入ください。

貯蓄目標額は

千	百	十	百	千	円

 万円

問11 お宅では、今後貯蓄をふやす場合、つぎの種類のうち、どれを選びますか。ありましたらいくつでもけっこうです。○印をつけてください。またそのうち、もっとも力を入れたいとお考えになっているもの1つに◎印をつけてください。

- 1 郵便貯金
- 2 銀行等の預金・積金
- 3 職場預金（社内預金）
- 4 貸付信託・金銭信託
- 5 生命保険・簡易保険（ただし定期保険のような掛け捨ての保険は除く）
- 6 郵便年金・個人年金信託・年金保険（厚生年金・国民年金・公務員共済などの公的年金は除く）
- 7 国債・地方債（都道府県市債等）
- 8 金融債
- 9 社債（転換社債を含む）、公社・公団・公庫債等その他債券
- 10 株式（従業員持株制度による株式を含む）

- 11 投資信託
- 12 財形貯蓄
- 13 その他（具体的に記入ください）

問11-1 その○印をつけられた種類をお決めになった理由は何でしょうか。つぎのうちあてはまるもの1つに○印をつけてください。

- 1 利回りがよく得たから
- 2 将来の値上がりを楽しみたから
- 3 元金が保証されているから
- 4 信用できて安心だから
- 5 現金にかえやすいから
- 6 少額でも預け入れ、引き出しが自由だから
- 7 その他（具体的に記入ください）

問12 お宅では「節約」についてどのようにお考えになりますか。つぎのうちお宅の考えに近いものに○印をつけてください。

- 1 引続き節約につとめる
- 2 これまでは節約していなかったが、今後は節約に努めるつもり
- 3 これまでは節約に努めてきたが、今後はこれまでは節約しない
- 4 これまでも節約はしなかったし、今後も節約するつもりはない

問12-1 その理由として、もっとも強くお考えになっているものはつぎのうちどれでしょうか。いずれか1つに○印をつけてください。

- 1 家計のやりくりがむずかしくなったから
- 2 物価が先行きまた高騰するかもしれないから
- 3 景気の状態からみて、今後は大幅な所得増加が望めそうもないから
- 4 公共料金支出や教育費などがふえているから
- 5 資源は有限であり物を大切にしなければならないから

問12-2 その理由として、もっとも強くお考えになっているものはつぎのうちどれでしょうか。いずれか1つに○印をつけてください。

- 1 家計のやりくりが楽になったから
- 2 先行き物価が落ち着くと思うから
- 3 景気の状態からみて、今後は所得の増加が望めそうだから
- 4 毎日の生活を充実させたいから
- 5 資源不足といっても、ますますどうということはないから

問13 お宅では資源・エネルギーの節約に努力していますか。

- 1 努力している
- 2 努力していない

問13-1 つぎのなかから、重点をおいて努力しているものはいくつでも○印をつけてください。

- 1 冷暖房を節約し、温度の調節も小まめに行っている
- 2 電灯、テレビのつけ放しをしないようにしている
- 3 風呂は家族全員がそろって入れる時間にかかると、連続して入るようにしている
- 4 洗たくには風呂の残り湯を使い、脱水してからすすぐようにしている
- 5 通勤やレジャーには極力車をつかわないようにしている
- 7 大型車から小型車への切替えや、省エネ型のクーラー、冷蔵庫、テレビの買替えを行った
- 8 しょうゆのものを食卓にのせるようにしている
- 9 衣料品、家庭用品等を再生して活用している
- 10 交換会などによって不用品の活用を図っている

問14 お宅の今後1年間の家計支出をお考えになった場合、全体としてはつぎのどれにあてはまりますか。あてはまるものに○印をつけてください。

- 1 家計の方針として、ある程度支出をふやしたい
- 2 値上がりなどから、支出をふやさざるをえないと思う
- 3 これまでと変えない
- 4 支出をへらしたい

問15 今後1年間の家計支出をお考えになった場合、つぎのイ、ロ、ハ、それぞれについて、あてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

イ、ふやしたい費目

- 1 食料費
- 2 住居費
- 3 光熱費
- 4 衣料費
- 5 家電・家具等耐久消費財購入費
- 6 自動車購入・維持費
- 7 教育費
- 8 交通通信費
- 9 医療費
- 10 教養娯楽費
- 11 交際費

ロ、ふやさざるをえない費目

- 1 食料費
- 2 住居費
- 3 光熱費
- 4 衣料費
- 5 家電・家具等耐久消費財購入費
- 6 自動車購入・維持費
- 7 教育費
- 8 交通通信費
- 9 医療費
- 10 教養娯楽費
- 11 交際費

ハ、節約したい費目

- 1 食料費
- 2 住居費
- 3 光熱費
- 4 衣料費
- 5 家電・家具等耐久消費財購入費
- 6 自動車購入・維持費
- 7 教育費
- 8 交通通信費
- 9 医療費
- 10 教養娯楽費
- 11 交際費

問16 この1年間、お宅では値上りの予想されるものを早目に買った、買置きたりしましたか。

- 1 した
- 2 しなかった

→どういふものを早目に買った、買置きたりしましたか。

- 1 家電・家具、自動車等の耐久消費財
- 2 衣料品や身回り品
- 3 トイレ・バス・キッチン、洗剤などの家庭用品
- 4 灯油、ガス、ガスなどの石油製品
- 5 貴金属、宝石、書画、工芸品など
- 6 土地・建物

→早目に買った、買置きたりした理由としてつぎのなかから2つまで選んで○印をつけてください。1つでもかまいません。

- 1 消費者物価の上昇が続くと思ったから
- 2 先行き物が不足すると思ったから
- 3 土地・建物を早目に買わないと値上がりして自家取得がますます困難になると思ったから
- 4 将来値上がりした時点でまたお金にかえる目的から
- 5 金融機関からの借入れが比較的容易であったから
- 6 これまでに値上りを前に買置きをせず損をしたことがあるから
- 7 その他（具体的に記入ください）

→早目に買った、買置きたりした理由としてつぎのなかから2つまで選んで○印をつけてください。1つでもかまいません。

- 1 消費者物価が落ち着くと思ったから
- 2 先行き物が不足するとは思わなかったから
- 3 買置きはかえって物価の上昇を激しくすると思ったから
- 4 土地・建物の価格は高くなりすぎ、手がとどかないと思ったから
- 5 金融機関などからの借入れが難しく金利も高かったから
- 6 買置きしたくても資金的に余裕がなかったから
- 7 物は不足しており、とくに買いたいものがなかったから
- 8 預金していてもほとんど目へりしなかったから
- 9 その他（具体的に記入ください）

問17 お宅では老後の家計（暮らし）についてどのようにお考えになっていますか。

- 1 心配していない
- 2 不安がないわけではないが、それほど心配していない
- 3 どうなるか心配である
- 4 非常に心配である

問17-1 その理由としてつぎのなかからいくつでも選んで○印をつけてください。またそのうちもっとも大きな理由とお考えになっているもの1つに◎印をつけてください。

- 1 貯蓄があるから
- 2 生活がおひやかされるほど物価が上昇するとは思われないから
- 3 公的年金や恩給がもらえると思われるから
- 4 退職金や企業年金があるから
- 5 現在の仕事を続けられるから
- 6 再就職など（アパート経営等を含む）により新しい収入をえられる見込みがあるから
- 7 子供等家族からの援助が期待できるから
- 8 その他（具体的に記入ください）

問17-2 その理由としてつぎのなかからいくつでも選んで○印をつけてください。またそのうち最も大きな理由とお考えになっているもの1つに◎印をつけてください。

- 1 十分な貯蓄がないから
- 2 物価の上昇で生活がおひやかされると思うから
- 3 公的年金や恩給が十分でないから
- 4 退職金や企業年金が十分でないから
- 5 現在の仕事を続けられないから
- 6 再就職など（アパート経営等を含む）により新しい収入がえられそうもないから
- 7 子供等家族からの援助が期待できそうもないから
- 8 その他（具体的に記入ください）

問18 お宅には借入金（月賦の未払金を含む、但し営業・営業上の借入金、あるいは月々のツケ買いの未払分は含みません）がありますか。

- 1 ある
- 2 ない（借入金がない方は問19へ進んでください）

（ある方のみ）

問18-1 どのような種類の借入金ですか。あてはまるものいくつでも○印をつけてください。

- 1 金融機関（公庫・郵便局なども含む）からの借入金
- 2 自動車、家電等耐久消費財の月賦未払金、クレジットカードを含む
- 3 勤め先からの借入金
- 5 知人、親せき等からの借入金
- 6 その他（具体的に記入ください）

問18-2 借入金の未払分はだいたい全部でどのくらいありますか。

億	千	百	拾	万	円

→ そのうち土地・建物関係の借入は

億	千	百	拾	万	円

問18-3 この借入金の主な使途は何ですか。つぎのうち、あてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。またそのうち最も金額の大きいもの1つに◎印をつけてください。（この借入金は家計上の借入金だけで、営業・営業上の借入は含めないでください）

- 1 病気や不時の災害のため
- 2 こどもの教育費や結婚資金として
- 3 土地・建物の買い入れや増改築・修理のため
- 4 家具・家電製品などの購入のため（月賦払を含む）
- 5 自動車購入のため（月賦払を含む）
- 6 旅行など余暇を楽しむため
- 7 日常生活資金のため
- 8 その他（具体的に記入ください）

問18-4 お宅では、この1年ぐらゐの間に借入金（月賦払を含む）をどれくらい返済されましたか。

千	百	拾	万	円

→ そのうち土地・建物など住宅ローンの返済額はどのくらいですか。

千	百	拾	万	円

問18-5 お宅では、借入金返済の影響をどのようにうけていますか。つぎのなかからあてはまるものいくつでも○印をつけてください。またそのうち最も影響の大きいもの1つに◎印をつけてください。

- 1 貯蓄をへらさざるをえない
- 2 食料費、衣服費、光熱費等必需的支出を切りつめるをえない
- 3 子供の教育費を切りつめるをえない
- 4 家電・家具等耐久消費財の購入を見送らざるをえない
- 5 旅行やレジャー関係の支出をへらさざるをえない
- 6 交際費、教養娯楽費の支出をへらさざるをえない
- 7 生活費、貯蓄などにとくに影響をうけていない
- 8 その他（具体的に記入ください）

問19 お宅の住居についておたずねします。お宅では現在どのような住居にお住いですか。つぎのうちあてはまるものに○印をつけてください。

- 1 自分で建築または購入した家屋（マンションを含む）
- 2 その他の持家（親からの相続・贈与、親と同居など）

- 3 民間の賃貸マンション・アパート、借家
- 4 住宅公団・住宅供給公社または公営の賃貸アパート
- 5 官庁・会社の官舎・社宅
- 6 同居、間借、その他

問19-1 今後、住居の取得、建て換え、買い換え、増改築についてどのようにお考えになっていますか。あてはまる番号に○印をつけてください。また土地・建物（マンションを含む）別にも○印をつけてください。

- 1 今後1年以内に予定…
 - 1 土地のみ
 - 2 建物のみ
 - 3 土地・建物とも
 - 4 増改築
- 2 今後5年以内に予定…
 - 1 土地のみ
 - 2 建物のみ
 - 3 土地・建物とも
 - 4 増改築
- 3 今後10年以内に予定…
 - 1 土地のみ
 - 2 建物のみ
 - 3 土地・建物とも
 - 4 増改築

4 いつになるかははっきりしないが予定はしている

5 今後も予定はない

※ 予定のない方は問20へ進んでください。

問19-2 また、その土地・建物（マンションを含む）の取得、増改築などのための目標額はどのくらいでしょうか（すでに土地をお持ちの方は、建物についてのみお答えください）

〔土地・建物等の新規取得、買い換えなどの場合〕

千	百	拾	万	円

〔増改築の場合〕

億	千	百	拾	万	円

（その内訳は）

(1) 土地に

億	千	百	拾	万	円

億	千	百	拾	万	円

(2) 建物に

億	千	百	拾	万	円

億	千	百	拾	万	円

（そのための資金計画は）

(3) 自己資金で

億	千	百	拾	万	円

億	千	百	拾	万	円

(4) 借入金で

億	千	百	拾	万	円

億	千	百	拾	万	円

問20 お宅では家計簿をおつけになっていますか

- 1 つけている
- 2 つけたが、つけなかつたり
- 3 つけていない

→ 問20-1 具体的には、どのようなつけ方をしていますか。

- 1 費目ごとに予算を立て、それと毎月の支出額を比べあわせている
- 2 費目わけして月ごとにとりまとめている
- 3 毎日の収入と支出だけを付けている
- 4 その他（具体的に記入ください）

→ 問20-2 支出の整理は、どのようにしていますか。

- 1 きまった支出などある程度区分して、その分のお金を袋に入れて整理しておく
- 2 そのつと支払う
- 3 その他（具体的に記入ください）

→ 問20-3 どのような理由でおつけにならないのですか。

- 1 つける暇がないから
- 2 めんどくたから
- 3 つけていてもお金のいる時にはいるのだから
- 4 さいふをまかされていないので、世帯全体の出費の状況がわからないから
- 5 つけ方がわからないから
- 6 その他（具体的に記入ください）

問21 お宅には幼稚園児・小学生・中学生・高校生のお子様がいらっしゃるでしょうか。

- 1 いる
- 2 いない

（いる方のみ）

問21-1 おこづかいの額は月にだいたいいくらぐらいですか。なお、区分毎にお子様の有無を○印で表示してください。

幼稚園児 { 1 いる → 千 百 拾 万 円
2 いない

小学生(1~2年) { 1 いる → 千 百 拾 万 円
2 いない

小学生(3~4年) { 1 いる → 千 百 拾 万 円
2 いない

小学生(5~6年) { 1 いる → 千 百 拾 万 円
2 いない

中学生 { 1 いる → 千 百 拾 万 円
2 いない

高校生 { 1 いる → 千 百 拾 万 円
2 いない

〔小学校3年生から6年生のお子様の場合〕

問21-2 おこづかいの渡し方は

- 1 月または週にまとめて渡している
- 2 必要のつと渡している

問21-3 お子様にこづかい帳をつけさせますか

- 1 つけさせている
- 2 つけさせていない

問21-4 お子様にこづかいから貯蓄(ことも銀行を含めて)をさせていますか

- 1 貯蓄させている
- 2 貯蓄させていない

問21-5 お子様のこづかいについて、お宅の考えに近いものを1つだけ選んで○印をつけてください

- 1 こづかいは与えず、必要なものは親が購入してわたす
- 2 こづかいは与えるが、使い方についてこまかく指導する
- 3 こづかいは原則として自由に使わせるが、場合によっては注意する
- 4 与えたものだから、自由に使わせて使い方を自分で考えるようにさせる

問21-6 金銭や物についてのねうちとか使い方について、お子様と話し合うことがありますか。あてはまるものに○印をつけてください

- 1 しばしば話し合う
- 2 あまり話し合うことはない
- 3 子供が話し合いを好まない
- 4 話し合う必要がない

〔中学生・高校生のお子様の場合〕

問21-7 おこづかいの渡し方は

- 1 月または週にまとめて渡している
- 2 必要のつと渡している

問21-8 お子様にこづかい帳をつけさせていますか

- 1 つけさせている
- 2 つけさせていない

問21-9 お子様にこづかいから貯蓄(生徒銀行を含めて)をさせていますか

- 1 貯蓄させている
- 2 貯蓄させていない

問21-10 お子様のこづかいについて、お宅の考えに近いものを1つだけ選んで○印をつけてください

- 1 こづかいは与えず、必要なものは親が購入してわたす
- 2 こづかいは与えるが、使い方についてこまかく指導する
- 3 こづかいは原則として自由に使わせるが、場合によっては注意する
- 4 与えたものだから、自由に使わせて使い方を自分で考えるようにさせる

問21-11 金銭や物についてのねうちとか使い方について、お子様と話し合うことがありますか。あてはまるものに○印をつけてください

- 1 しばしば話し合う
- 2 あまり話し合うことはない
- 3 子供が話し合いを好まない
- 4 話し合う必要がない

問22 貯蓄の利子・配当に対する非課税制度としては、①少額貯蓄非課税制度(少額の貯蓄金や公社債などが対象。マル優制度)、②少額公債特別非課税制度(国債と地方債に限りマル優とは別枠で認められているもの。特別マル優制度)、③郵便貯金の3つがあります。お宅では、世帯主の方に限った場合、これらの貯蓄非課税制度をご利用になっていますか。それぞれの制度ごとにお答えください

- ① 少額貯蓄非課税制度 (限度枠300万円) ② 少額公債特別非課税制度 (限度枠300万円) ③ 郵便貯金 (限度枠300万円)

- 1 利用している 2 利用していない

- 1 利用している 2 利用していない

- 1 利用している 2 利用していない

(それぞれご利用なさっている方へ)

問22-1 非課税制度を利用している貯蓄の残高はどのくらいお持ちですか。ご利用になっているそれぞれの制度ごとにあてはまるものに○印をつけてください

- ① 少額貯蓄非課税制度 (限度枠300万円)
- 1 100万円以下 2 101~200万円以下
- 3 201~300万円以下
- ② 少額公債特別非課税制度 (限度枠300万円)
- 1 100万円以下 2 101~200万円以下
- 3 201~300万円以下
- ③ 郵便貯金 (限度枠300万円)
- 1 100万円以下 2 101~200万円以下
- 3 201~300万円以下

(それぞれご利用なさっていない方へ)

問22-2 非課税制度を利用しないのはどのような理由からですか。それぞれの制度ごとにあてはまるものにいくつでも○印をつけてください

- ① 少額貯蓄非課税制度 (限度枠300万円)
- 1 制度があることを知らなかったから
 - 2 貯蓄をする場合の手続きが面倒だから
 - 3 貯蓄についてのファイナンスが守れなくなるから
 - 4 他の非課税貯蓄枠に余裕があるから
 - 5 その他 (具体的に記入してください)

② 少額公債特別非課税制度 (限度枠300万円)

- 1 制度があることを知らなかったから
- 2 貯蓄する場合の手続きが面倒だから
- 3 貯蓄についてのファイナンスが守れなくなるから
- 4 他の非課税貯蓄枠に余裕があるから
- 5 国債、地方債のような債券は値下がりのおそれがあるから
- 6 その他 (具体的に記入してください)

③ 郵便貯金 (限度枠300万円)

- 1 制度があることを知らなかったから
- 2 貯蓄する場合の手続きが面倒だから
- 3 貯蓄についてのファイナンスが守れなくなるから
- 4 他の非課税貯蓄枠に余裕があるから
- 5 その他 (具体的に記入してください)

〔付問1〕

生活や貯蓄に関し、いくつかの意見を述べた文章があげてあります。お宅ではそれぞれについてA、B2つの意見のうちどのような考えをお持ちですか。もっとも近い番号に○印をつけてください

- | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 (A) 将来のことをいろいろ心配するより、現在の生活を楽しく暮すべきだ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2 (A) 新製品が発売されても手持ちの旧型のもを大切に使う | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3 (A) ある程度物価が上がるから収入がそれ以上にふえる方がよい | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4 (A) 物価が高騰すれば、先行き不安だから貯蓄を一時ふやす | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5 (A) 物価が高騰しても先行きの返済負担を考えれば、消費のための借入れはしない方がよい | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 (A) 公的年金があるので老後に備えてとくに貯蓄をふやす必要はない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (B) 現在の生活は切りつめても将来のことを考えて計画的に生活すべきだ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (B) 新製品が発売されれば新製品に買い換える方が効率的である | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (B) 収入がそれほどふえなくても物価が安定している方がよい | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (B) 物価が高騰すれば、貯蓄するより消費をふやす | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (B) 物価が高騰すれば消費のための借入れをした方がよい | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (B) 公的年金があっても、老後に備えて貯蓄をふやす必要がある | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

ここで少しお宅のことについておたずねします。ご記入くださいますことがらはすべて合計した統計数字として表わしますので、お宅のことが外に洩れたりすることはありませんからありのままをお答えください

問23 ご自分も含めてお宅のご家族は何人ですか

- 1 2人 2 3人 3 4人 4 5人
- 5 6人 6 7人以上

問24 世帯主の方の年齢をうかがいます。満年齢であてはまるものに○印をつけてください

- 1 20歳代 2 30歳代 3 40歳代
- 4 50歳代 5 60歳代

問25 お宅の家族全体の最近1年間における手取り(税引き)

問26 最後にお宅の世帯主の方の職業をなるべく具体的に記入ください

- 1 農林漁業 2 自営商工・サービス業 3 事務系の勤め人
- 4 労務系の勤め人 5 管理職・自由業 6 その他